

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	読書・学習支援事業	5-2
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部市民図書館	直通電話	72-2000
担当部長	渡邊 斉志	担当課長	丹羽 秀人
		担当者	五東 秀一

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	講座、講演会、図書館まつり等の開催 特集コーナー、特別展示等の実施 図書館活用ガイダンスの実施		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習情報の提供と相談体制の整備・充実	
	施策コード	50101	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	市民に豊かな学習機会を提供する。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	多くの市民に来館してもらう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	次のような事業により、様々な学習機会を提供する。 図書館講座、講演会、図書館まつり等 特集コーナー、特別展示等 小中学校等に対する図書館活用ガイダンスの実施
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	情報・高齢社会において、図書館に対する関心が高まり、また、要求も多様化してきている。図書館まつり・講座は、学習行為を深める機会として、また、図書館自体のPRとして多くの図書館で行われている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	講座にはボランティアの参加(企画・運営等)あり。図書館まつりは運営委員会を図書館ボランティアを中心とした市民が構成し、企画運営を実施。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	350	350	370	370
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	13,121	12,593	13,636	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	13,471	12,943	14,006	
事務に従事した正職員延べ人数	1.52	1.52	1.52	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)					支				
入					出					
計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0	
(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
図書館講座開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	3	5	7	
	達成率	-	-	-	
特集展示回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	2	4	4	
	達成率	-	-	-	
小中学校に対する図書館活用指導の実施回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	26	27	15	
	達成率	-	-	-	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
図書館講座参加者数(人) (目標値は各講座の定員。H20は講座開催予定回数が未定。)	目標値	100	150	200	150
	実績値	114	163	278	
	達成率	114.0	108.7	139.0	
図書館まつり当日の来館者数(人) (開催日数はH17:4日、H18:3日、H19:2日、H20:2日)	目標値	6,000	6,000	4,000	4,000
	実績値	7,000	6,408	4,239	
	達成率	116.7	106.8	106.0	
図書館登録者数(人)	目標値	未設定	39,890	43,081	46,096
	実績値	36,596	40,071	43,335	
	達成率	-	100.5	100.6	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか		事業の成果と施策の成果とに関連があるか	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	イ 成果	1
その事業に市が関与する必要があるかどうか		事業の成果は目標を達成しているか	
(2) 効率性		ウ 事業内容	2
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	
コスト削減は可能か		(1)~(4)の評価ポイント合計	10
(3) 公平性		総合評価の参考にしてください。	
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	7~11 A or B	
さらなる受益者負担は可能か		12~15 B or C	
		16~21 D or E	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		図書館まつりは開催日数の短縮により来館者総数としては減少しているものの、各年度の目標値はクリアしており、事業の成果全体において良好と考える。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		図書館の利用者を拡大し、より多くの市民に来館してもらうため、市民の学習に対するニーズを捉え反映させた事業を実施していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		課長評価を了承する。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		学習機会のさらなる多様化を図り、より豊かな学習機会を市民に提供できるよう努める必要がある。また、その提供方法についても、市民協働を視野に入れながら創意工夫を行う必要がある。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		来館者の増加とともに、事業運営への市民参加の拡大に努める。	